

事業名：厚田地域着地型観光町づくり事業

名称：厚田地域着地型観光町づくり
協議会

1. 目的

- (1) 地域資源を活用し、旅行会社との協業により、域内周遊タイプの体験型商品を造成する。
- (2) 地域住民の商品造成への機運醸成と地域の観光人材(コーディネーター&プレイヤー)の育成を図る。
- (3) モニターツアー実施と観光商品の磨き上げ(PDCA化)により、お客様に感動と再訪意欲を持って頂ける観光地作りを継続的に展開する。
- (4) 具体的商品の販路拡大を含めたプロモーションの展開。

2. 実施概要

- (1) 事業主体
厚田地域着地型観光商品町づくり協議会
- (2) ターゲット
厚田区民、有識者&モニターツアー参加者(ファミリー)
- (3) 何を行うのか？
 - ・域内周遊タイプの着地型体験観光商品作り
 - ・モニターツアー告知、実施、ガイドブック製作
 - ・アンケート調査&分析、改善
- (4) どこで行うのか？
 - ・石狩市厚田区・浜益区

3. スケジュール

- (1) いつ、どのような手段で行うのか？
- (2) 手段を使って何をするのか？

時期	手 段	目 的
6月～8月	・協議会の設立 ↓ ・セミナー&ワークショップの実施	地域資源の再発掘と活用方法の検討
9月	先進地(環駒視察) ↳ 旅行会社レク	着地型商品、留意点、観光人材の動き等の把握
9月～10月	ワークショップ(旅行会社との協業) パンフ等告知ツールの見直し	ストーリー性があり、お客様を呼べる域内周遊タイプの旅行商品を造成(3～4商品)&実証実験
11月	モニターツアー(日帰り)の実施	・集客、告知方法の検証 ・ハンドリング担当者の動き把握 ・お客さまからの評価把握
1月	ワークショップ(旅行会社との協業) ↳ ・旅行会社への商品造成依頼	モニターツアー等の評価、次年度課題整理、磨き上げ

★詳細スケジュールは別紙を参照願います。

4. 予算

- (1) いくらで行うのか？
総額 410万円(地元負担金等 225万円)
 - ※セミナー 120万円
 - ※告知ツール整備(プロモーション含む) 176万円
 - ※モニターツアー等実証実験 54万円
 - ※先進地視察 60万円

5. 目標と検証方法

- (1) 年度内にどのような数値結果を目指すのか？
 - (2) どのような基準(ものさし)で評価するのか？
- (1) ①モニターツアー一般参加者アンケート 顧客満足度70%以上
②モニターツアー有識者アンケート 顧客満足度60%以上
- (2) 初年度につき(1)とし、次年度以降は商品化に伴い、ツアー参加者数、町入れ込み客数、飲食店販売額等々のKPIを設定することと致したい。